

神石高原町

読書活動



神石高原町教育委員会
生涯学習課・学校教育課

はじめに

本町では、平成20年度に読書による「教養のまち—神石高原町」を宣言し、全ての町民のみなさんに読書に親しんでいただき、読書を通して豊かなコミュニケーションづくり、夢の持てる町づくりをめざしています。

教育委員会では「神石高原町読書活動推進計画」及び「神石高原町子ども読書活動推進計画」を策定し、「神石高原町読書月間（8月）」を定める等、様々な活動を通して、「教養のまち」づくりに取り組んでいます。

生涯学習課では本を読む機会の提供、広報活動や研修会、読書感想文コンクール等を、学校教育課では各学校において朝読書、読み聞かせ、図書委員会の活動等、他にも多くの活動に取り組んでいます。

小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から完全実施となる新しい学習指導要領には次のように記されています。

今回の改訂においては各教科等を通じて児童の思考力・判断力・表現力等をはぐくむ観点から、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な児童の言語活動の充実を図ることとしている。

その中でも、読書は、児童の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で重要であり、児童の望ましい読書習慣の形成を図るため、学校の教育活動全体を通じ、多様な指導の展開を図ることが大切である。

このように、読書は学力、人間形成や情操に大きく関わっており、その充実が求められています。

社会教育、学校教育の分野それぞれで取り組んでいることをこの冊子にまとめ、広く町民の皆さんにお知らせすることとしました。

各家庭においても、保護者の皆様にも、子どもたちにも読書に親しんでいただけることを心から願っています。

平成24年 3月

神石高原町教育委員会
教育長 佐竹 秀朗



はじめに

本町の読書のようす

- | | |
|----------|---|
| (1) 社会教育 | 1 |
| (2) 学校教育 | 2 |

社会教育での取組

- | | |
|----------------------|---|
| ①本を読むきっかけの提供 | 3 |
| ・ 広報 | |
| ・ 読書活動の意義や重要性についての啓発 | |
| ・ 研修会, 講座の開催 | |
| ・ 関係者の連携 | 4 |
| ・ 資料展示 | |
| ・ ブッククロッシング | |
| ・ ブックスタート | |
| ②本を読むことの習慣化 | 5 |
| ・ 図書館まつり | |
| ③本を読む力の育成 | |
| ・ お話し会 | |
| ④本を読んだことを発表する機会の提供 | |
| ・ 読書感想文コンクール | |
| ⑤読書活動の推進に向けた整備 | 6 |
| ・ 図書館資料の整備・充実 | |

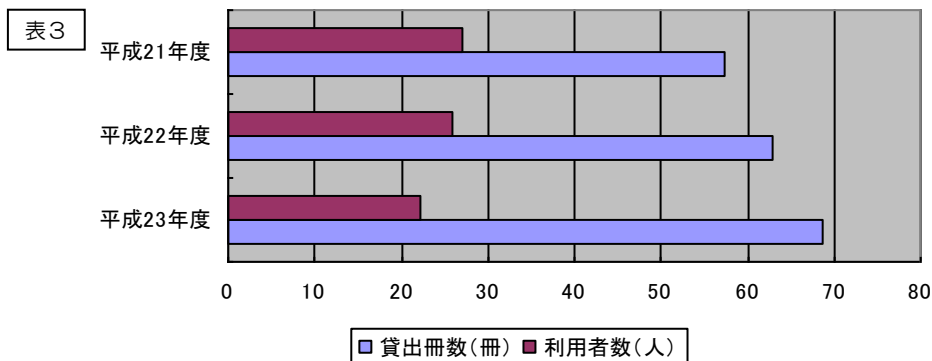
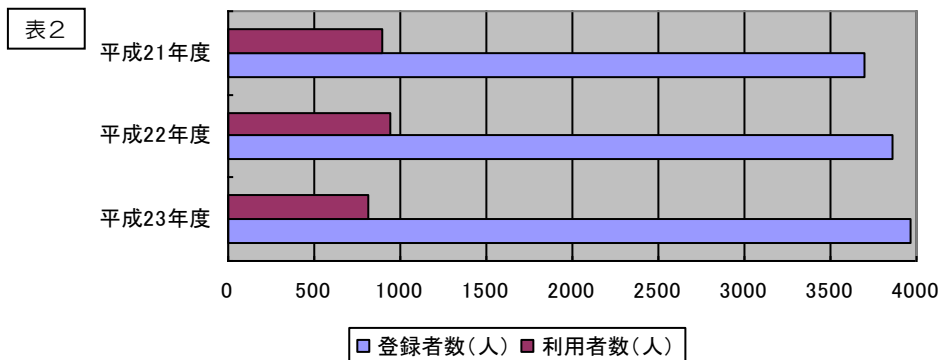
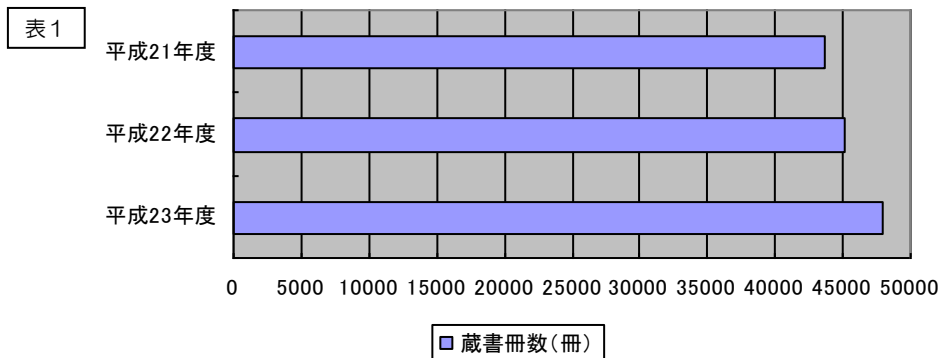
学校教育での取組

- | | |
|---------------|----|
| ①学校としての取組 | 7 |
| ②図書委員会による活動 | |
| ③子ども司書の活動 | |
| ④地域の方の協力を得た活動 | |
| ⑤N I E | 8 |
| ⑥各校の取組 | |
| 来見小学校 | 9 |
| 三和小学校 | 10 |
| 神石小学校 | 11 |
| 油木小学校 | 12 |
| 豊松小学校 | 13 |
| 三和中学校 | 14 |
| 神石中学校 | 15 |
| 油木中学校 | 16 |
| 豊松中学校 | 17 |

(1) 社会教育

下のグラフは、シルトピアカレッジ図書館の蔵書冊数（表1）、利用者カードを持っている人とそのうち実際に図書を借りた人の人数（表2）、1日当たり平均の図書館利用者数と貸出冊数（表3）です。

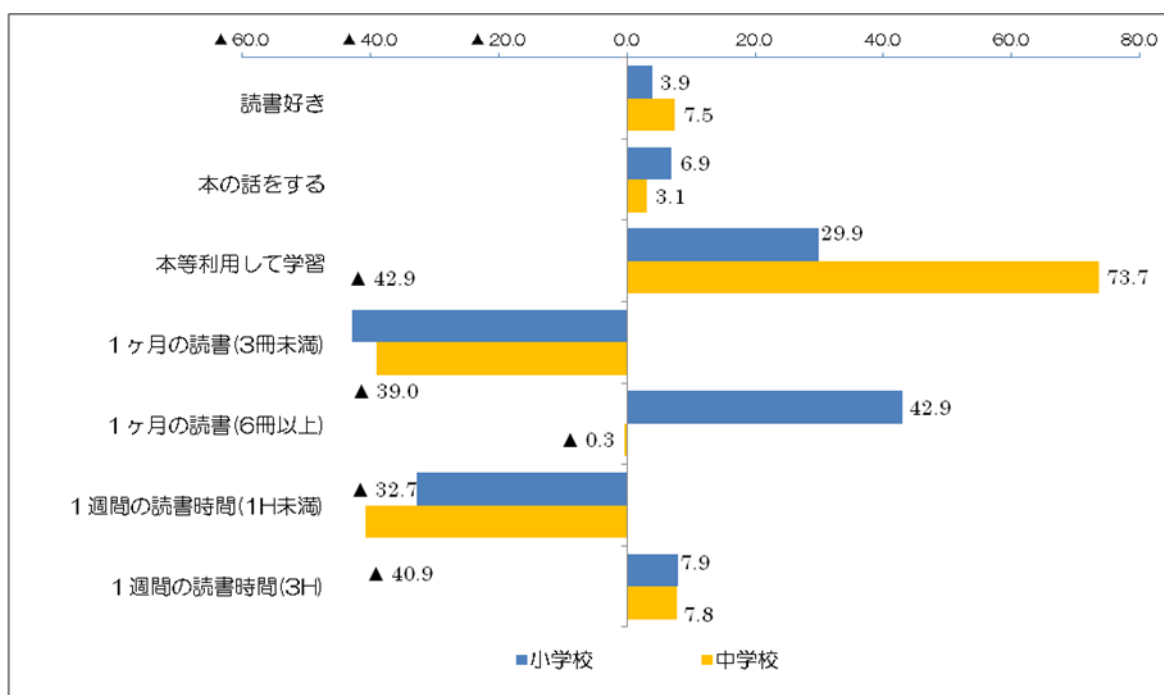
- ①蔵書冊数は、年ごとに増えています。
- ②利用者カードを持っている人も、年ごとに増えています。
- ③利用者カードは持っていても利用していない人が多くなっています。
- ④貸出冊数は増えていますが、利用者数は減っています。



(2) 学校教育

下のグラフは、広島県が行っている「基礎・基本」定着状況調査の児童・生徒質問紙調査にある「読書」に関する質問に対する肯定的な回答の直近4～5年分を合計して、県と町の差をグラフにしたものです。

- ①本町の児童生徒は、「読書好き」です。
- ②読んだ本の内容について、よく話題にして話をしています。
- ③本や資料を活用して学習をよくします。
- ④1ヶ月間で読んだ冊数が「3冊未満」の児童・生徒が少ないです。
- ⑤1ヶ月間で読んだ冊数が「6冊以上」の児童は多いですが、生徒は県より少しだけ少ないです。
- ⑥1週間の読書時間が「1時間未満」の児童・生徒が少ないです。
- ⑦1週間の読書時間が「3時間以上」の児童・生徒が多いです。



広島県「基礎・基本」定着状況調査過去4～5年の肯定的回答(「はい」+「どちらかと言えばはい」)の割合の合計の、県と町の差
(「3冊未満」と「1H未満」はマイナスの方がよい)



社会教育では、身近に本に触れることができる環境づくり、講座、図書館の利用についての啓発等の取組を行っています。
その一端をご紹介します。

①本を読むきっかけの提供

・ 広報

広報神石高原や図書館だよりで、新刊や話題の本などを紹介しています。



・ 読書活動の意義や重要性についての啓発

「子ども司書」養成講座実地研修、中学生職場体験、高校生インターンシップの受け入れをしました。

・ 小学生



(子ども司書研修)

・ 中学生



(職場体験)

・ 高校生



(インターンシップ)

・ 研修会、講座等の開催

子育てにすぐ役立つセミナーを開催しました。



おはなしコンサートを開催しました。

・関係者の連携



読書会を開催しました。

「読み語り」研修会を開催しました。



・資料展示



図書の特設展示を実施しました。



・ブッククロッシング



皆さんからご提供いただいた本を公民館などに置き、自由に読んでお返しいただけるようにしています。

・ブックスタート



赤ちゃんと大人とがふれあえる機会として、乳児検診時に読み語りと絵本のプレゼントをしています。

②本を読むことの習慣化

・図書館まつり



図書館まつりを開催しました。

・スペースの確保



シルトピアカレッジ図書館の児童図書コーナーをリニューアルしました。

③本を読む力の育成

・おはなし会



絵本のおはなし会を実施しています。
(第1・3土曜日)

④本を読んだことを表現する機会の提供



・読書感想文コンクール

新たに「黒い雨」の部を設け、募集、表彰をしました。

平成23年度の結果

【応募作品数】

- 小学生の部：284件
- 中学生の部：188件
- 高校生の部：17件
- 「黒い雨」の部：21件

【審査結果】

○小学生の部

最優秀賞 馬屋原由衣（油木小学校）

優秀賞 川上友士（来見小学校） 金山晃士（神石小学校） 田辺佑季（油木小学校）

○中学生の部

最優秀賞 矢迫野乃佳（神石中学校）

優秀賞 岩谷愛花（神石中学校） 佐伯彩夏（神石中学校）

○高校生の部

最優秀賞 小林茉由（油木高等学校）

優秀賞 前原由佳（油木高等学校）

○「黒い雨」の部

最優秀賞 横山敬子（福山市）

優秀賞 大橋正明（神石高原町） 吉田ゆんか（東広島市） 柳田修身（奈良市）

特別賞 川上光（三和中学校） 佐々木真応（京都教育大学附属桃山中学校）

⑤読書活動の推進に向けた整備

・図書資料の整備・充実

地域活性化交付金を活用し、多くの図書資料を購入、整理しました。



YA（ヤングアダルト）コーナーも充実しています。

学校では、教職員、児童・生徒会による取組をはじめ、家庭や地域の方々の協力をいただき、実に様々な取組を行っています。

その一端をご紹介します。

① 学校としての取組

- ・朝読書の推進
- ・読書感想文コンクールへの参加
- ・授業において図書館の活用
- ・学級文庫の設置・充実
- ・廊下に短編小説を掲示
- ・公共図書館からの本の貸し出し



② 図書委員会による活動

- ・委員会だよりの発行
- ・放送での呼びかけ
- ・読みたい本のアンケート
- ・図書の整理，図書室の整頓
- ・お薦めの本紹介

③ 子ども司書の活動

- ・委員会活動の充実
- ・図書の整理
- ・巧みな読み聞かせ



④ 地域の方の協力を得た活動

- ・読み聞かせ
- ・ブックトーク



⑤ N I E

中国新聞と新聞活用の協定を締結

平成23年9月28日、教育委員会は中国新聞と新聞活用に関する協定を結びました。

このことにより、

- ①中国新聞が発行する新聞記事について、授業や学級通信で二次使用
- ②授業や研修への記者の派遣依頼が可能となりました。

この制度を活用することで、言語活動が一層充実することが期待できます。

協定書に調印する佐竹教育長(左)と兼重代表



協定書に調印する佐竹教育長(左)と兼重代表

神石高原の学校新聞活用

町教委と本社
協定締結

神石高原町教委と中国新聞社が発行する新国新聞社は28日、小中聞記事について、授業や学級通信で二次使用できるようなる。授業や研修への記者派遣も盛り込んだ。児童生徒の言語活動の充実を図り、教育の向上に向けて連携を深める。同町小島の町教委は、佐竹秀朗教育長と中国新聞備後本社の兼重代表が出席。佐竹教育長は「町は読書を用を盛り込んだ新学習指導要領の適用は4月から小学校で始まり、中学校は2012年度から始まる。」(伊藤敬子)

中国新聞 H23.9.29

中国新聞記事データベースの活用

新聞そのものを広げて、記事を探し、切り貼りしたり、記事を要約したりする活動に加えて、下の画面のように、インターネット上で中国新聞の記事のデータベースから必要な記事を検索できる環境も整備しました。

中国新聞
The Chugoku Shimbun ONLINE

[【記事検索】](#)

記事検索

[条件を保存](#)
[条件をクリア](#)

期間 1か月 3か月 6か月 1年 全期間 ~ YYYYYMMDD形式 例)2009年1月1日 → 20090101

検索方式 すべての語を含む いずれかの語を含む 自然文検索

一致方式 完全一致 任意一致

検索範囲 見出し 本文 キーワード 分類語

同義語展開 する しない

シノラス展開 する しない

ページ ページ (~ ページ)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
来見小学校	7	10	6	8	9	11	51

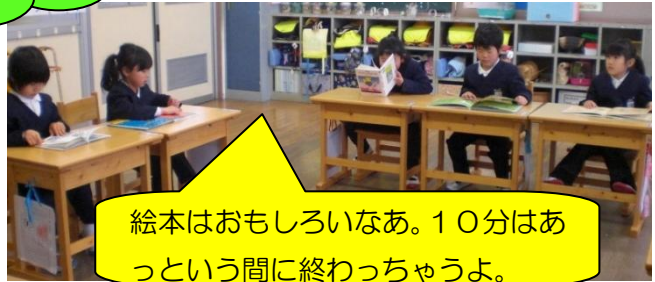
実践事例

読書の習慣化

○図書委員会による読み聞かせ

今日の読み聞かせは紙芝居です。

○毎朝の10分間読書



絵本は面白いなあ。10分はあっという間に終わっちゃうよ。

○新しい本の紹介

おもしろい本なので図書館へ読みに来てください。



給食時間に図書館に新しく入った本の紹介をします。



担任による読み聞かせ

○「ゆきんこ」の方による読み聞かせ



6月、2月の年2回「ゆきんこ」の方に、季節の行事に関連した内容のものや児童が興味をもつ本などの読み聞かせや本の紹介をしていただきます。

学校図書館を活用した授業の工夫

【第1学年】国語科・昔ばなしがいっぱい
「泣いた赤鬼」を劇で発表しよう学習発表会で発表しました。その後、図書館で昔ばなしをいっぱい読みました。

「ないた赤おに」は友だちの大切さを考えさせられました。



【第4学年】国語科・「だれもがかかわり合えるように」点字について調べてブックトをしました

点字や手話について学習した後自分の調べたいことを決めて調べまとめて発表しました。



【第2学年】国語科・「お手紙」の音読劇をして、がまくんとかえるくんの他のお話や、アーノルド・ローベルの他の作品を読みました。



学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
三和小学校	20	17	29	18	25	20	129

「たくさん読む」ための取組

朝読書の推進



「読書カード」の活用



- ・毎月、低学年は15冊以上、中学年は、400ページ以上、高学年は600ページ以上、本を読むことを目標に「読書カード」に記入しています。

「ゆきんこの会」による読み聞かせ



- ・月1回、テーマを決めて、学年の実態に合った本を選択し、読み聞かせをさせていただきます。学校にはない多種多様な本や大型絵本など準備され、児童は興味や関心をもって聞いています。

教職員による読み聞かせ



- ・月1回、全教職員が、担当学年の実態に合った本を選択し、読み聞かせをしています。毎月、担当の学年が変わり、全教職員が、全ての学年に読み聞かせをしています。

図書委員による読み聞かせ



- ・月1回、図書委員が学年に合った本を選び、各学級に読み聞かせをしています。

図書委員会による新刊図書・おすすめ本の紹介・表彰



- ・朝会時をつかい、図書委員が全校児童におすすめ本の紹介をしたり、図書館でたくさん本を借りて読んだ児童に賞状を渡し、表彰したりしています。

広島県立図書館からの図書セットの貸し出しの利用

- ・図書セット（互助文庫・教弘文庫の貸し出しを利用し、よみもの、絵本、実用書などバランスよく多くの図書を提供しています。

通信での呼びかけ

家庭での読書の推進

- ・生活を振り返るための「生活がんばりカード」項目に、読書活動に関する項目を入れ、家庭での読書を推進しています。

「よりよく読む」ための取組

読書感想文の発表会

- ・低、中、高学年に分かれて、読書感想文の発表会を行っています。

読書感想文のコンクールへ参加

学校図書館を活用した教材や学習過程の工夫

- ・総合的な学習の時間や社会、国語など、どの学年も他教科にわたり、学校図書館を活用しています。



【第1学年】「じどうしゃずかん」

読書環境の整備

調べ学習等に使える図書の整備

- ・担任に調べ学習で活用したい図書や事典の希望を聞き、揃えています。

図書委員会による推薦図書コーナー

- ・図書委員が、推薦図書コーナーに読んで欲しい本を並べています。

課題図書の紹介

- ・読書感想文を書くなどの参考に、課題図書本を並べています。



学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
神石小学校	7	9	12	11	12	9	60

実践事例

図書委員会主体の取り組み



↑毎週火曜日の昼休憩に図書委員会で読み語りをしています。

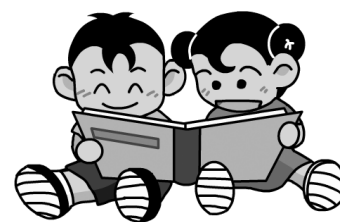


↑毎週火曜日の全校朝会では、本の紹介をしています。紹介した本のポスターは、本と一緒に図書室の前に掲示しています。



↑毎年10月に全校で「読書集会」を行っています。

学年の取り組み



↑月・水・金曜日の学級朝会では、15分間読書をしています。



↑学級の前の廊下に学年の「おすすめの本」を展示しています。



↑読んだ本の感想を短く書いて、廊下に掲示しています。

ゆきん子の会との連携

毎月1回読み語り朝会を設けています。読書ボランティアの「ゆきん子の会」のみなさんにお世話になっています。

本を読んでくださるだけでなく、いろいろとお話して下さるのが楽しいです。(2年男子)



学校にない本が見れるのがうれしいです。

(1年女子)

休みの日に家の人と一緒に町の図書館に行くようになりました。

(3年女子)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
油木小学校	18	9	17	21	22	12	99

【油木小学校 学校教育目標】

「未来を拓く心豊かなたくましい子どもの育成」
 ～ よく学び よく遊び 夢に向かう子ども～

図書館教育 目指す姿

本に親しみ、本を活用し、感性・知性を豊かに自己の生き方を考える子

読書センターとしての活用

読書時間の確保

- 朝の読書タイム
- 隙間時間の読書
- 本の紹介・読み聞かせ



図書委員会の活動

- 本の貸し出し
- 図書館の整理
- 賞状渡し
- 図書だより
- 低学年への本の読み聞かせ



- 読書まつり



学習センターとしての活用

図書館利用の指導と推進

- 朝会での指導



図書委員会による図書館利用の推進

- 図書館環境整備

教科学習との関連

- 国語科
- 総合的な学習の時間

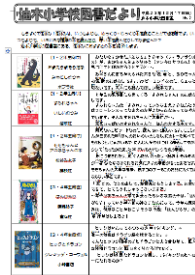


5学年「山・海・島体験活動」調べ学習

家庭・地域との連携

家庭との連携

- 休日読書の推進
- 図書館だよりの発行



ゆきんこの会との連携

- 本の読み語り



- 読書まつり



図書委員会と
ゆきんこの会
との連携

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
豊松小学校	8	8	8	10	13	14	61

読書活動の充実



○朝読書（月・金）
○昼読書（水）

自分で選んだ本を15分間読みます。



○ゆきんこの会・地域のボランティアの方による読み聞かせ朝会
（毎月第3金曜日）

子どもたちは興味津々で聞いています。



○読書まつり（4月・11月）

図書委員による大型絵本の読み聞かせなど。



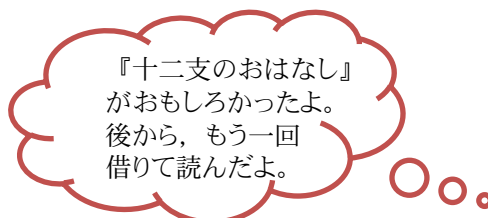
○図書委員のおすすめの本の紹介
（毎月1回）



今度は、どの本を読もうかなあ・・・



みんなたのしんでくれて
いるかなあ。



○1・2年教室へ出前読み聞かせ（毎月1回）
図書委員が交代でしています。



読書環境の工夫



○課題図書を紹介



○図書委員によるおすすめの本の紹介



○本の貸し出し 図書委員
毎週 月・金（昼休み）



新しい本の
コーナー

○学級文庫の充実



国語教科書の本のコーナー



○公共図書館からの団体貸し出し本
学級貸し出しセットをつくり、低・高学年
間で交換し合っています。

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
三和中学校	43	39	29				111

朝読書（月・火・水・金）実施

子ども読書の日

絵本の読み語り・ブックトーク 2

絵本の読み語り・ブックトーク 1

読書活動



8時25分から10分間
朝の読書に取り組みます。



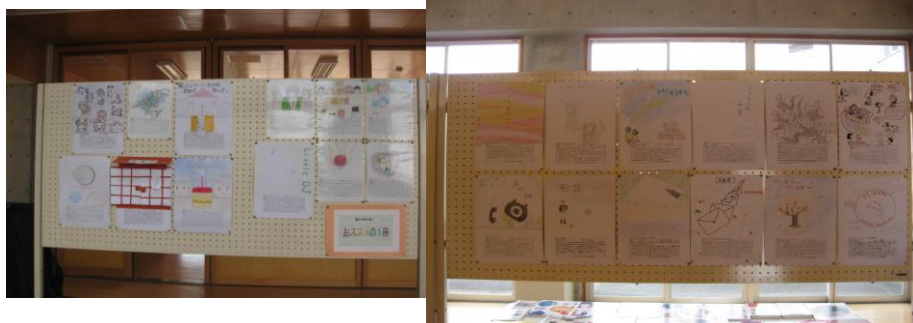
4月22日・11月25日に図書委員全員で
絵本の読み語りとブックトークを行いました。

読書カードへの記録

おすすめの本紹介



読み終わった本を記録する
カードです。次は何を読もう
かな？



お薦めの本を友達に紹介するコーナーです。
それぞれアピールしたい所を中心につけています。

生徒が選ぶおすすめの本

読書環境の整備

新刊書コーナー

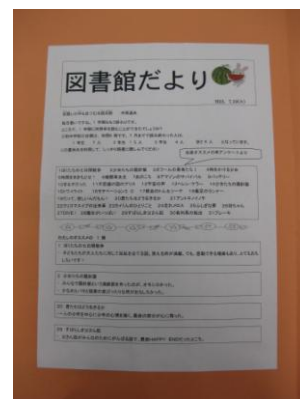
課題図書紹介



2学期に生徒が読んだ本から
おススメの本を96冊選びました。



本年度新しく入った本を中心
にしたコーナーです。



おすすめの図書・新しく
入った本・課題図書紹介

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
神石中学校	10	9	18				37

読書環境づくり

自分の記録になるし他の人が読んだ本を知るチャンス

本の紹介（図書室）



図書室に新着の本やお薦めの本のコーナーを設置する。

本の紹介コーナー（教室）



各教室に朝読で活用できるお薦めの本のコーナーを設置する。

読書の記録



生徒が作成した読書記録カード。生徒も教師も読んだ本を記録して廊下に掲示する。他の人の読書を知る

図書だより



スクールカルチャー委員会の生徒が本の紹介を書いて掲示・配布する。

委員会による主体的な活動

職員による読み聞かせ



委員会担当の先生による絵本の読み聞かせ。
『じごくのそうべえ』

読書感想文コンクール



委員会主催の読書感想文コンクール。審査も表彰も生徒が行う。

クイズになると楽しい!

生徒によるクイズ



本って楽しいよ!

生徒による本の紹介



学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
油木中学校	17	11	17				45

読書活動推進のために

きっかけ

落ち着いて読書に親む
朝読書

地域の図書館と連携した図書の貸し出し
絵本の会「ゆきんこ」によるブックトークや読み聞かせ



火曜日から金曜日



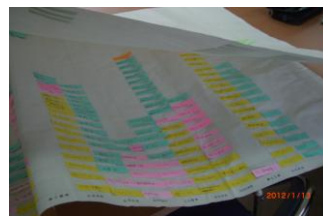
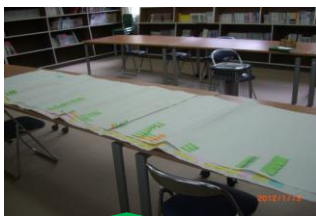
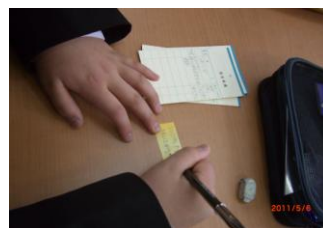
習慣

ブックトークや読み聞かせに耳を傾けるとともに、シルトピア図書館や絵本の会「ゆきんこ」の蔵書を借りて、早速読み始めている。



文化図書委員会の活動

- *放送で呼びかけ，昼休憩に図書の貸し出しと返却手続き
- *全校生徒の読書記録をまとめ，掲示物を作成
- *購入希望図書アンケートの実施
- *図書の整理
- *図書室の整理整頓



図書室

環境の整備

学習資料センターとして

図書分類番号を室内・入口・書架に掲示

調べ学習に利用



意欲

楽しく・うまく

講師を招いての
朗読体験学習



学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
豊松中学校	11	5	14				30

絶え間なく動く心臓
ドク・ドク・ドク

平成23年度 豊松中学校

生涯読み続ける
読・読・読

読書活動の展開

読書を生活の中にとり入れ、習慣化しよう！

読むことを楽しむ



朝読

○教室での朝読



○廊下掲示の短編を朝読



読書刺激

○全校朝会ブックトーク



○走れメロス実況中継
さて続きは？全校生徒の
共通話題に・・・

読むことを楽しみ、
表現を楽しむ

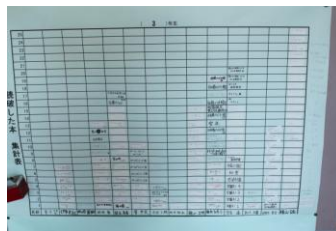
読書環境整備



○新刊本の紹介



○短編小説の掲示



○読書冊数記録表

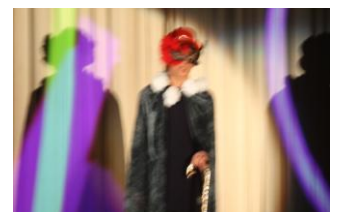


○掲示物の工夫と内容の深化

詩や作文、劇で表現



○自由詩や作文



○赤川次郎「夢から醒めた夢」

